

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

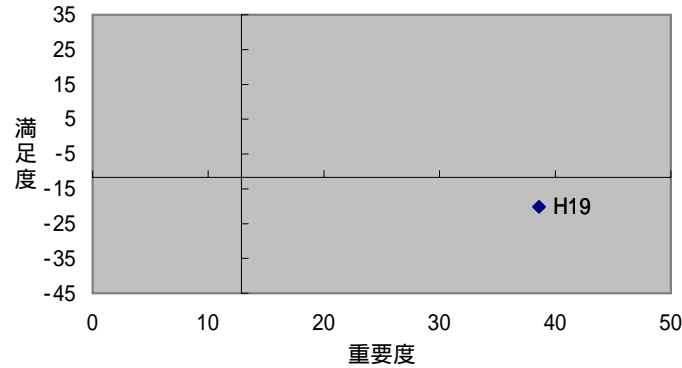
施策名 (小項目)	病院事業	コード	作成者	役職	備前病院事務長
		02-02-07	氏名	竹中史朗	
			電話	64-3845	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	(対象)地域市民 (目的)国保直診の役割として、保健・医療・福祉を一体的に提供する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	1. 医療ニーズの量から質への変化 2. 診療報酬・介護報酬マイナス改定や医療費個人負担率見直しによる病院・施設経営の厳しさ増大。 3. 3病院の連携・機能分化の構築と経営健全化。 4. 岡山市内の高度医療提供施設との連携、地域密着型の医療サービスの提供、医師確保。 5. 本年も市民満足度が重要度38.6%、満足度-20.2%の強化領域にあるのは、産科を初めとする医師確保の難しい診療科を公立で経営できていない事、救急搬送件数が市外搬送が多いことへの市民の懸念、病院の医療安全確保体制への懸念が市民にあると分析する。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型の医療サービスの提供</li> <li>地域連携の強化</li> <li>3病院機能分化</li> <li>3病院経営健全化</li> <li>職員ローテーション</li> <li>備前病院の建替え検討</li> <li>病院事業の経営手法の確立</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	38.6		
満足度(%)	-20.2		



高 ↑ 満足 度 ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>
	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p>&lt;強化領域&gt; 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等  
 市民満足度調査の調査項目が漠然としているため、施策の何が不足しているのか詳細は不明である。重要度38.6%、満足度-20.2%の強化領域にあるのは、産科を初めとする医師確保の難しい診療科を公立で経営できていない事、救急搬送件数が市外搬送が多いことへの市民の懸念、病院の医療安全確保体制への懸念が市民にあると分析する。病院事業への繰り出しも年々減少している中、経営を無視した経営は不可能である。医師不足等の現実を市民に理解してもらい、民間病院・岡山市内の高度機能病院との連携、地域に信頼される安全で機能的な医療確保に努力してゆかなければならない。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 経営統合率	目標	件	1	1	1	1	3病院事業を一つの病院事業に統一
	実績	件	3	3			
	達成率	%	0.0	0.0			
2 病院事業の黒字化	目標	件	3	3	3	3	3病院事業のそれぞれの黒字化
	実績	件	2	2			
	達成率	%	66.7	66.7			
3 入院稼働率	目標	%	85.0	90.0	95.0	95.0	病床90%の稼働率を目指す。
	実績	%	71.7	84.2			
	達成率	%	84.4	93.6			
4 医業収支	目標	千円	180,000	35,000			各病院1000万円とさつき苑5000万円の黒字化を目指す。
	実績	千円	143,110	-62,627			
	達成率	%	79.5	-179			

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 病院運営事業	B	備前病院経営	ソフト事業	33,553	71,551	30,468	67,063			
		備前病院庶務	維持管理							
	B	日生病院経営	ソフト事業	27,962	38,235	36,974	48,105			
		日生病院庶務	維持管理							
	B	吉永病院経営	ソフト事業	20,256	33,510	30,600	45,665			
		吉永病院庶務	維持管理							
2 診療事業	C	備前病院入院	ソフト事業	665,520	714,434	643,326	705,783			
		備前病院外来	ソフト事業							
		備前病院その他医業	ソフト事業							
	C	日生病院入院	ソフト事業	399,176	388,790	593,204	458,740			
		日生病院外来	ソフト事業							
		日生病院その他医業	ソフト事業							
	B	吉永病院入院	ソフト事業	872,048	569,170	917,136	587,935			
		吉永病院外来	ソフト事業							
		吉永病院その他医業	ソフト事業							
3 さつき苑入所運営事業	C	入所運営事業	ソフト事業	168,030	144,848	171,413	146,666			
4 通所リハビリ運営事業	C	通所リハビリ運営事業	ソフト事業	7,119	23,026	8,413	28,443			
5 居宅介護支援運営事業	C	居宅介護支援運営事業	ソフト事業	227	3,225	2,180	2,927			
6 訪問看護事業	C	訪問看護事業	ソフト事業	989	14,880	1,281	14,400			
7 吉永病院建設事業		吉永病院建設事業	ハード事業	1,734,822	18,120					
8 日生病院建設事業		日生病院建設事業	ハード事業	1,505,221	15,517					

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

	H17	H18	H19
	7,470,229	4,540,722	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
各病院	新規診療科目の検討	住民ニーズは小児科・産科等の診療科目。ただし、黒字化と反する。
各病院	積極的な救急体制	近隣市への患者流出防止と市民満足度の向上を必要とする。
各病院	地域連携強化	病病連携、病診連携により各病院の機能向上
備前市	早急な経営手法の確立と患者サービス向上	病院事業の一本化。待ち時間短縮、接客改善。
各病院	医師・看護師確保・医療安全体制の確立	良質な医療提供を維持するため。医療事故発生防止と病院機能向上のため。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	1	日生病院と吉永病院は黒字だが、備前病院事業は大幅な赤字。繰入金金の減少も赤字要因である。	2	経営統合は進んでいないが、経営上で連携可能なものは統合していくことが必要。
2 事業構成の適当性	1	速やかな経営統合の必要があるが、全く進捗していない。赤字が多い事業から優先順位を決定した。	2	事業内容を再度見直し、改善可能な事業を選択すべき、現在進行している事業が少ない。
3 施策の有効性	2	市民ニーズと乖離しており、市民ニーズに応えるには基準を遵守した繰入金金の必要がある。	3	市民ニーズのみの対応を行えば経営的には苦しくなる。安定経営と市民ニーズを考慮しながら施策を進める必要がある。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	市民ニーズと施策目標の乖離が問題。保健・介護事業との連携、より地域密着型の医療の推進が必要。各病院・施設とも更なる経営健全化を目指し医療安全対策に代表される患者サービスの具体策を講じなければならない。老朽化した備前病院の建替えを検討して、患者アメニティを向上させ市外に流失する患者獲得に努力する。		3病院の市民理解を得るには、それぞれの病院が経営状況も考慮しながら医療サービスの満足度を向上させる事が必要。職員一人ひとりの意識改革で患者増を図る努力を行う。	
二次評価者コメント	予算上、3病院の努力を市民に理解を求めるには、基準内繰入金の方法に問題がある。市からの基準内繰出をまず行い、決算で一般会計へ繰入れ(戻入れ)を行うことでそれぞれの病院の努力が評価されると思う。備前病院の建替えの理解を得るためにも考えを変えるべき。			平成20年度 予算の方向性  重点配分